

イマデガワでイチバンの地域情報誌

イマ＊イチ

TAKE FREE

マツチャリ特集

晴れた今日は
チャリを連れて
ときめくマツチャリに
会いに行こう

2025

7

№.104

特集「マッチャリ」

p.02 特集「好文舎」

p.03 特集「茶ろんたわらや」

p.04 特集「茶房 いせはん」

p.05 特集「きらく寿し 佐門」

p.06-07 連載「これがキョウジュの生きる道 2025」

p.08-09 おしえて！私のクラブ・サークル活動

「SF 研究会」「同志社大學應援團吹奏楽部」

p.10-11 出張版スポーツアトム

p.12-14 文化公認団体 EVENT スケジュール

p.15 CAMPUS INFORMATION

p.16-17 レポート「CLAP 演劇ワークショップ 2025」

p.18 WOT・CT

p.19 上京区内イベントのお知らせ

p.20-21 編集後記・読者プレゼント



今回は鴨川から北野
天満宮までの今出川
通—約三・二kmを
自転車で巡り、付近
の抹茶を扱うお店を
特集します。好文舎、
茶ろんたわらや、茶
房 いせはん、きらく
寿し 佐門の四つの
店をピックアップ。
自転車に乗り、のん
びりマッチャリ。

自転車で

まったり抹茶

今出川



好文舎



梅が見守る、

新たな出会い

学問に励むと花開き、急れば咲かなかったという故事から好文舎という異名をもつ梅。早春、寒さに耐えて中庭に咲くこの木を店名の由来とするカフェ「好文舎」は、ギャラリーも併設している。半月ほどを会期としてリレー形式で開催される作品展は、若手作家のものが多い。カフェ目当てで訪れた人が思いがけず心に響く作品を見つけたら、在廊している作家とお茶をお供に話し込んでみることも。そんな「出会い」の場を提供する店主にお話を伺った。



▲薄茶（税込 600 円）と季節の和菓子（税込 500 円）

人気のメニューは薄茶。両手に馴染む器にたっぷり点てられたお抹茶を口に含む。きめ細かい泡とほのかな苦みの後に深い味わいが広がった。実はこの茶葉は、京都ではなく九州の八女（やめ）茶。茶道関係者が多い常連客にも好評だ。一緒にいただいた美しい和菓子とそれを引き立てる器は、近所の「京菓子司 金谷正廣」特製。和菓子は季節と共に変わるため、いつ行っても新たな味わいに出会うことができる。この日いただいたものは上が露園（つじ）にかたどられ、緑蕉の風を感じさせた。こだわりがつまったメニューではあるが、「マナー」とかないから。気軽に食べてください」と笑う店主のお人柄に触れ、肩の力を抜いて存分に堪能することができた。

お茶へのこだわり



変わりゆく彩り

中庭には梅の他にもう一本の木がある。目に鮮やかな青楓、あおかえで。見頃である夏の午前中は射しこむ日の光が濃い陰影を落とし、お茶もあわせて様々な緑を目でも楽しめる。店内に目を転じれば、そこそこ活けた小ぶりながらも確かな存在感をもつ花々。閑静な午前中に彩りを味わい尽くすのも一興。猛暑からの隠れ家と思いがけない出会いを果たすのもまた一興。不思議な引力をもつ好文舎は、二十四節気と共に装いを変えつつ今日も待っている。



- ① 10:30~18:00
- ② 日曜日
- ☎ 090-9697-7255
- 📍 京都市上京区油小路通上長者町上る 甲斐守町 118
- 🚶 市バス「堀川中立売」から徒歩 5 分
- 📍 koubunshakyo

茶ろんたわらや

菓心求道

宝暦5年（1755年）創業。「常に菓子求道」を求め、菓子道に励むこと」を理念として掲げるのは、上京区に本店を構える京菓子専門店、俵屋吉富だ。こだわり抜かれた素材から経験豊富な職人の手によって手作りされる俵屋吉富の菓子は、ひとつひとつが繊細で上品な仕上がりになっており、中でも100年前から守られ続けてきた「雲龍」はお店を象徴するものとなっている。



心地よい静けさ

「茶ろんたわらや」は俵屋吉富が2006年から営業する抹茶と和菓子を堪能できる茶房だ。この小さな甘味処は茶菓子に特化した販売店である俵屋吉富小川店に併設されており、大通りがすぐそばにあることを忘れるほど静寂に満ちた空間となっている。

店内の壁はガラス張りとなっており、手入れされた庭園を眺めながらゆったりとした時間を過ごすことができる作りになっている。まるで隠れ家のような雰囲気存分に感じながら、ほっと息をつくひと時は何ものにも代えがたい。



- ① 10:00 ~ 16:00
- ☎ 火曜日
- ☎ 075-411-0114
- 📍 京都市上京区寺之内通 小川西入ル宝鏡院東町 592
- 🚶 今出川駅徒歩 13 分
- 📍 tawaraya_unryu



きらく寿し佐門

鯖寿司や海鮮丼が目を引くなかで、一番人気は10種類以上のネタを少しずつ味わう豪華な海鮮丼。しかしながら、訪れた際には鯖寿司と「三茶そば」の『西陣セット』（税込990円）をぜひ味わってほしい。まず間違いなく、鯖の肉厚と目を引く新鮮さ。酸味がまるやかでシャリは、型を使わない小袖寿司で、店主の手作業ですりしと作られている。ガリ酢を使った調味液に漬けられている鯖は、醤油いらずのさっぱりとした味わい。鯖が苦手であれば、京都らしさはそのままに鰻寿司に変更していただくも可。

鯖街道の置き土産

北野天満宮のほど近く、井筒色の暖簾が目印の「きらく寿し佐門」。店主が鯖寿司を作りはじめて十数年、今ではその味を求めて足を運ぶ人も多い。カウンターのほか畳席もあり、注文端未は英語・中国語にも対応している。地元客から観光客まで訪れやすい一軒だ。

町寿司のおもてなし



抹茶の都に息づく

京の昼餼

寿司屋で取って、茶そばを出す理由。それは、京都らしさをより感じてもらおうという店主の計らいによるもの。8種類の材料からじっくり取った出汁に、抹茶の香りがほのかに混じる茶そば。一人前を堪能するのにも良いが、あえて半量で寿司と組み合わせると、かつて鯖街道が通ったこの地の京文化を、二重に味わう贅沢ができる。抹茶文化のこの町で、たまには趣向を変えて王道から少し寄り道。そんな一杯も、悪くない。



- ① ランチ 11:30~16:00 (L.O. 15:30)
- ディナー 17:00~23:00 (L.O. 22:00)
- ※ディナーは予約のみ
- ② 不定休
(ただし 20 日夜・21 日終日は休み)
- ☎ 075-463-8555
- 📍 京都市上京区紙屋川町 839-6
- 📞 嵐電「北野白梅町駅」から徒歩 5 分
- 📍 kyoto.sushi.samon



茶房 いせはん



「茶房 いせはん」のあらまし

オープンしたのは、1997年。京都出町の甘味処として、河原町今出川に店を構える「茶房 いせはん」。店名は、11代目店主である伊藤さんの家系が代々受け継いできた「伊勢屋半兵衛（いせやはんべい）」という屋号（※）に由来。店先の看板に描かれているコマク（千鳥のくちばし）の先には、茶房 いせはんの売りである小豆が描かれており、それがなんともチャームポイント。※屋号とは……個人事業主が事務所や店舗などを開設する際に使用する名称のこと。



甘味界の御所揃い

「特製あんみつ」

今回の取材で注文させていたいたのは、お店の看板メニューである「特製あんみつ」（税込1300円）。小豆にお抹茶、白玉黒糖と、素材のどれもが店主こだわりの一品もの。ゼリーとわらび餅に使用されているお抹茶は、京都の老舗抹茶専門店「柳樹園茶舗」のもの。抹茶特有の渋みはほとんどなく、ふんわりと優しい抹茶の味が楽しめる。また、小豆には京都府産の高級品種のみが使用されている。その特徴は皮の薄さと、こし餡にするのがもつたないほどの粒の大きさ。口に入れたときのゴロゴロとした小豆の贅沢な食感がたまらない。



こだわりスイーツで、身も心もほっこりと

「身体に良いものを提供したい」との思いから、店主は国産素材にこだわっている。仕込みから盛り付けまでも一人で行い、納得できるものを提供することを大切にしている。安心安全で、店主の真心こもった美味しいスイーツに身も心もほっこりできる、京の素敵な甘味処。みなさんもぜひ。



- ③ 11:00~18:30 (L.O. 18:00)
- ④ 火曜日（祝日の場合は営業）
- ☎ 075-231-5422
- 📍 京都市上京区河原町今出川上ル 青龍町 242
- 🚶 京阪電車（鴨東線）「出町柳」から徒歩 5 分
- 📍 sabouisehan



United Kingdom

政治学との出会い

カ久キョウジュが語る自身と政治学との出会いは巡り合わせの連続だったという。学部生時代、法学部に入学したカ久キョウジュの知的好奇心をそそったのは法律に関するものではなく、政治学。とりわけヨーロッパ政治史に関する授業や文献だった。大学のゼミではフランス政治史を専門とする先生のもとで学び、ヨーロッパ政治に対して関心を深めていったキョウジュは、高まる気持ちそのままに大学院へと進学する。大学院での興味は民主主義分野へと移っていったのだが、それがキョウジュの学問の道において今にも繋がるターニングポイントとなった。それはひとえに議会制民主主義の総本山、イギリスを研究し始めたからだ。

唯一無二となったイギリス留学

大学院では研究を進めるとともにグレート・ブリテン島中心部に位置するシェフィールド大学への留学を経験したカ久キョウジュ。記憶を辿りながら語る様子は、当時の学生時代の高揚を感じさせた。留学先で生活を共にしたイギリス人学生との交流や、日本人教授との出会い、そしてブリティッシュトラディショナルを肌で感じたことは今のカ久キョウジュの価値観に大きな影響を与えている。

時代の先端を走り、一世を風靡した音楽バンド発祥の地でありながら、伝統的で重厚な歴史を紡ぎ続けるイギリス。トラディショナルな要素のうちにラディカルさを受容していき、芯は揺るかないまま時代によって変化していくその文化に魅了されたのだと、カ久キョウジュは楽しげに語った。

同志社で学ぶということ

学生へのメッセージを尋ねると言葉を選ぶそぶりを見せながらキョウジュはこう言う。

「他人に対する配慮、隣人愛を忘れないキリスト教主義、自主性を重んじる自由主義、そして海外の文化に触れて知見を広めていく国際主義。教育理念に則って生活する同志社生には感心します」

VERITAS
LIBERABIT
VOS

「真理はあなたを自由にする。私たちが学び続け、前進する限り、未来はきっと明るいものとなる。」

カ久キョウジュはさらに続けて、この同志社で培った経験をこれから先自分がやりたいことへと繋げていってほしいと、私たち学生を後押しする言葉を残してくれた。同志社大学のエンブレムにもデザインされた言葉――

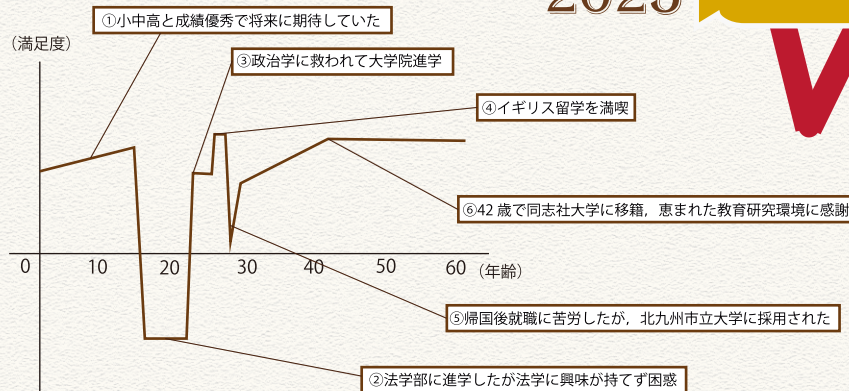
法学部政治学科 教授

カ久 昌幸

これがキョウジュの生きた

2025

道



～キョウジュの人生グラフ～

おしえて！ 私のクラブ・サークル活動

可能性は無限大

サイエンス・フィクション——この言葉を聞いてあなたは何を思い浮かべるだろうか。宇宙やロボット、ユートピア、そして未来や過去……。今回はそんな多種多様な魅力が詰まったこのジャンルをこよなく愛するSF研究会の皆さまにお話を伺った。

中でもSFへの想いを語ってくれたのは2年生の辻本さん。SFは中学生の頃から好んで読んでおり、おすすめのSF小説は劉慈欣（りゅうじきん）著作の『三体』だそう。

「SFというものは、ほんの少しでも現実と接点があれば、そこを起点にどこまでも世界を広げられる自由さを持っていることが魅力ですね。どんな人でも好きになれる要素を多分に含んでいるのがSFなんだと僕は思っています」



SF 研究会

交流を大切にする活動の様子

SF研究会の歴史は長く、創部は1970年にまで遡る。その歴史は部室を訪れると一目瞭然。壁一面の本棚にぎっしりと並べられているのは、創部当時から収集され続けているSF小説だ。メジャーなものからマイナーなものまで、SF好きもそうでない人も自然と引き寄せられてしまうラインナップが興味深い。そんな部室では定期的な読書会や映画観賞会が行われており、取材当日も下級生から上級生まで学年問わず和気あいあいと交流する姿が印象的であった。

「SF研究会という空間を楽しんでくれている人が去年までに比べて今年が多いので、この雰囲気これからも存続させていきたい」と辻本さんは語った。

そんなSF研究会は9月14日に大阪で行われる「文学フリマ大阪13」に出店予定。興味のある方はぜひ足を運んでみてほしい。

↓劉慈欣『三体』



選手たちを鼓舞し、試合を盛り上げる同志社大學応援團。先日行われた硬式野球部の春季リーグ戦、同立戦でも迫力のある応援を披露してくれた。指導部、吹奏楽部、チアリーダーで構成される応援団。今回は吹奏楽部にフォーカスし、その裏側を部長の上田桜子さん（4年）に伺った。

いつでも全力投球

リーグ戦が始まると応援団は毎週のように応援に駆け付ける。その活動は応援だけにとどまらず、年に2回開催されるコンサートでの演奏にも力を入れている。応援団としての印象が強い吹奏楽部だが、実は応援よりも「吹奏楽を続けたい」という理由で入部する部員が多いという。その思いに応えるため、昨年度の同志社EVEには、恒例の応援団のための出演に加えて吹奏楽部のみの演奏を実現。応援活動で忙しい中、限られた時間で演奏会のための練習も全力で行う。

ハードな活動が特徴の吹奏楽部だが、アルバイトを行う部員はなんと9割を超える。無理なく活動を持続けられるように月曜・木曜を固定で休みとしたり、予定を月初にあらかじめ提示するといった配慮を行っている。また、活動後や休日と同じ楽器のパートや同期で集まり遊びに行くことも非常に多いらしく、仲の良さが感じられた。こうして培われた絆が、一体感のある演奏を作り上げているのだろう。

これからの吹奏楽部

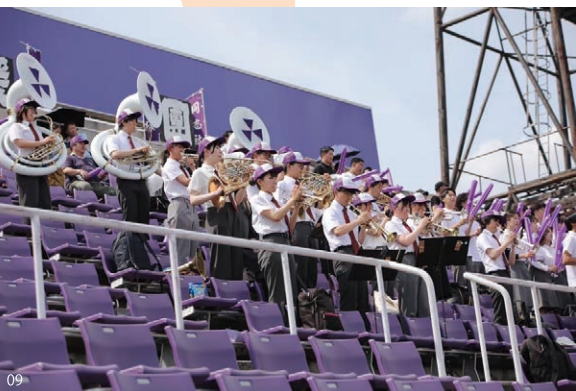
上田さんが思う吹奏楽部の強みは「底力」。「試合がピンチの時こそチャンスに変えるようなみんなの熱量があつて、いい意味での泥臭さがあると思います」と答えてくれた。今年度の新入部員数はここ4年間で最も多く、応援団全体では100人を超えるという。

規模が大きくなる中で今までの「少数精鋭」体制から、多数精鋭を目指したい、という新しい意気込みを語ってくれた。

7月19日にはサマーコンサート、12月7日には定期演奏会が開催される。サマーコンサートは新体制初の舞台となっており、応援演奏とはひと味違う魅力を奏しめること間違いなしだ。グラウンドとステージ、2つの舞台で全力で挑む同志社大學応援團吹奏楽部から目が離せない。



同志社大學応援團吹奏楽部





出張版

体育会の情報誌「同志社スポーツアトム」がイマ×イチに出張掲載。
体育会の活躍をイマ×イチの読者にもお届けします。

ソフトテニス部

5月3日・4日に長浜城テニスカン
デンにて2025年度関西学生ソフト
テニス春季リーグ戦が行われた。1部
リーグ最多43回の優勝を誇るソフトテ
ニス部男子、記録更新を目指したが、
惜しくも2位に終わる。優勝杯は関学
大に渡り、同志社は涙をのんだ。



表彰状を受け取る選手たち

5試合を戦い3本先取で勝利が決ま
る団体戦。強豪ひめく1部リーグを
制すのは、並大抵のことではない。春
季リーグ戦3連覇のフレッシュヤーが次
第に選手達の心をむしぼんだ。

1日目は3大学と対戦し、全て3
2で辛勝。中でも対立命大戦、対天理
大戦では5番勝負にもつれ込み、苦戦
を強いられた。てんびんになつたら
目の色を変えてやらなければならない
と思った（長根新）。2勝2敗を意味
するてんびん。5番手を任された塚本
長根新ヘアがチームの命運を握った。
2人は、実力を存分に発揮し試合を
リード。思詰まる戦いを圧勝で締め、
翌日につながた。

2日目は同じく初日全勝の関学大と
の対戦で幕が開けた。初戦にて優勝
を懸けた天王山の戦いだ。同志社は
オーダーを変更し、先行逃げ切りを図
る。しかし、吹き付ける強風がプレー
を阻害した。シングルスで出場した清
水以外の試合を落とし、1勝4敗で敗
北。関学大に層の厚さを見せつけられ、
優勝戦線から後退した。

リーグ戦最後の試合となった対大商
大戦では4勝1敗の貴族勝ち。結果は
2位となったが、関西第2代表として
全日本大学王座決定戦への出場権を得
た。「優勝を目指して意識を高くして
やていく」（岩永）。言葉に力を込め、
リベンジを誓った。

優勝は逃したが、今後につながる一
筋の光があった。「チームの勝ちに1番
貢献してくれた」長根新。試合後
主将がたたえたのはチーム唯一の全勝
賞を獲得した清水。技術の質で相手を
ねじ伏せるプレーを披露し、会場を沸
かせた。
気持ちを切り替え、目標の日本一へ
向けてリスタート。関東の大学に食ら
いつき、全国の舞台で大輪の華を咲か
せる。



ガッツポーズする清水

ラグビー部

5月10日、同志社大学京田辺キャン
パスラグビー場にてイングランドを代
表するユニオンクラブ Rugby Union
Club (RUC) との交流試合が
行われた。今の現役の子に、平尾さ
んの偉大さを伝えられることができて
よかった（永山監督）。ミスターラグ
ビーとまで称され、かつて紺クレを大
学選手権3連覇に導いた故・平尾誠二
氏。大学生生活を終えてプロになるまで
の1年間、リッチモンドに留学し、己
のスキルをさらに磨いた。またRUC
は、実際に平尾氏が所属していたチー
ムである。偉大なO日への追悔の意味
も込められた今試合に、特別な緊張感
を持って挑んだ。序盤から攻守にわた
り優位を確立し、計6トライを奪取。
42-19で勝利をつかんだ。

「チャレンジする気持ちで試合に挑
んだ」（下平）。鍛え上げられた屈強な
フィジカルに苦戦が予想されたが、序
盤から伝統ある展開ラグビーを披露す
る。前半5分には中村壮が右大外を駆
け上がり、先制点を獲得。その後も相
手の士気に乗ることなく、自分たちの
ペースに持ち込んだ。中でも下平は
ハットトリックを達成。「自分の強み
を生かして、走り勝てた」（下平）。自
慢の快足を飛ばし、点取り屋としての
責務を全った。



果敢に攻める下平

勝利を手繰り寄せた最大の要因は、
盤石の防御網だった。19失点を許した
が重厚な相手に真つ向から立ち向か
い、体を張ったプレーで対抗。1人では
倒せない相手には、ダブルタックル
で応戦し自陣トライゾーンへの侵入を
最小限にとめた。

「ヒットの部分で勝って、そのまま押
し返すところがあった」（コーエン）。F
W陣はスクラムにおいても手応えを実
感。指揮官も戦士たちの活躍を「大き
い相手に対して、びびらずに前に出れ
たことが良かった」（永山監督）と高く
評価した。

天国で見守るレジエントに吉報を届
けた今試合。「練習でやってきたこと
を出せた」（小川）。新体制になり積
み上げてきた訓練の成果を戦場に刻ん



試合後、握手を交わす両チームの選手たち

SUN 10	同志社グリークラブ「第27回 同立交歓演奏会」 ㊏@寒梅館ハーディーホール / 開場 15:30 / 開演 16:30 入場料 事前予約・当日券ともに1,000円 チケット情報▶ http://www.gleeclub.jp
SAT 16	同志社ウィメンズクワイア〜コールメイプル 「早稲田大学女声合唱団×同志社ウィメンズクワイア〜コールメイプル 歌の夏祭り」 ㊏@寒梅館ハーディーホール / 開場 15:30 / 開演 16:00 入場料 1,000円 (事前予約不要)
FRI 22	同志社交響楽団「同志社クラシック」 ㊏@寒梅館ハーディーホール / 時間未定 (決定次第D-Liveにてお知らせ) 入場無料 (事前予約不要)
SAT 23	One Voices「One Voices Summer Live 2025『Present』」 ㊏@京都FANJ / 時間未定・有料 (料金未定) (決定次第D-Liveにてお知らせ) 外

㊏ IN SEPTEMBER ㊏ 2025

MON TUE 01.02	ピアノ研究会「関西合同ピアノコンサート」 ㊏@寒梅館ハーディーホール / 時間未定 (決定次第D-Liveにてお知らせ) 入場無料 (事前予約不要)
FRI 05	マンドリンクラブ「同志社大学マンドリンクラブ横浜演奏会」 ㊏@横浜みなとみらいホール 小ホール / 開場 18:00 / 開演 18:30 入場料 1,000円 (未就学児無料・事前予約不要) 外
TUE 09	同志社大学応援団「第46回連盟祭〜四雄の宴〜」 ㊏@大阪城音楽堂 / 開場 13:00 / 開演 14:00 入場無料 (事前予約不要) 外
SUN 14	能楽部狂言会「長月狂言会」 ㊏@河村能舞台 / 時間未定 (決定次第D-Liveにてお知らせ) 入場無料 (事前予約不要) 外
SUN 21	能楽部宝生会「崇寛会」 ㊏@彦根城表御殿能舞台 (彦根城博物館内) / 時間未定 (決定次第D-Liveにてお知らせ) 入場無料 ※彦根城博物館入館料が別途必要 (事前予約不要) 外

㊏ IN OCTOBER ㊏ 2025

SAT 11	ハンドベル・クワイア 「2025年度同志社大学ハンドベル・クワイア定期演奏会 京田辺公演」 ㊏@同志社京田辺会堂言館 / 13:00頃 開演予定 (決定次第D-Liveにてお知らせ) 入場無料 (事前予約不要)
SUN 19	ピアノ研究会「第63回定期演奏会」 ㊏@寒梅館ハーディーホール / 開場 13:00 / 開演 13:30 入場無料 (事前予約不要)

文化系公認団体 EVENTスケジュール

予定は変更される可能性がございます。団体主催イベントの最新情報はD-Liveにてご確認ください。
 問い合わせは、各団体のお問い合わせフォームより送信をお願いします。

D-Live: ㊏



㊏ IN JULY ㊏ 2025

FRI 04	同志社大学喜劇研究会「7月ライブ」 ㊏@寒梅館クロワーホール / 開場 12:15 / 開演 12:45 入場無料 (事前予約不要)
FRI SAT 04.05	同志社小劇場「2025年度7月公演『幕末アリス』」 ㊏@新町別館小ホール 4日▶①開場 17:00 / 開演 17:30 5日▶①開場 11:30 / 開演 12:00 ②開場 17:00 / 開演 17:30 入場無料・カンパ制 / チケット▶@dshogeki (Instagram) で案内
SAT 12	同志社大学喜劇研究会「同早戦2025」 ㊏@楽屋A (大阪市西区新町1丁目6-23 四ツ橋大川ビルB1) / 開場 12:00 / 開演 12:30 入場料500円 (事前のチケット購入が必要) / チケット▶ https://tiget.net 外
SUN 13	同志社E.S.S.「第52回新島杯争奪全日本学生英語弁論大会」 ㊏@寒梅館ハーディーホール / 開場 12:00 / 開演 12:30 入場無料 (事前予約不要)
	同志社混声合唱団こまくさ「サマーコンサート2025」 ㊏@八幡市文化センター大ホール / 開場 14:00 / 開演 14:30 入場料 1,000円 (事前予約不要) 外
SAT 19	同志社大学応援団吹奏楽部「サマーコンサート2025」 ㊏@寒梅館ハーディーホール / 開場 17:00 / 開演 17:30 入場無料 (事前予約不要)

㊏ IN AUGUST ㊏ 2025

THU 07	軽音ブロック4団体合同「4大軽音ジョイコン」 ㊏@京都FANJ / 開場 10:00 / 開演 10:15 入場無料 ※ドリンク代600円が別途必要 (事前予約不要) 参加団体▶Lilac Rainbows / F.S.S. / ザン・マツシ・ミュージック研究会 / とんがりぼうし
-----------	--

外 ……学外で実施されるイベント

CAMPUS INFORMATION

同志社大学のお兄さん&お姉さんと一緒に遊ぼう！

同志社大学 寒梅館夏まつり



小学生
対象だよ

2025.8.23(土)

13:00～17:00

申込不要
無料

会場：同志社大学室町キャンパス寒梅館

※駐車場・駐輪場はございませんので、公共交通機関をご利用ください。

ステージショー

ジャグリングショー
フラダンス
タップダンス
アンサンブル演奏
など

ブースコーナー

キャンドルポットづくり
雅楽楽器体験
プラモデル体験会
人力車乗車
段ボールおもちゃコーナー
茶道体験 など

その他にも楽しい企画が盛りだくさんです！

詳細情報はこちら



【お問合せ】同志社大学今出川校地学生支援課
075-251-3270 / ji-gakse@mail.doshisha.ac.jp

SUN
26

ハンドベル・クワイア
「2025年度同志社大学ハンドベル・クワイア定期演奏会 今出川公演」
▽@同志社礼拝堂 / 13:00頃 開演予定（決定次第D-Liveにてお知らせ）
入場無料（事前予約不要）

同志社交響楽団「第97回定期演奏会」

▽@ザ・シンフォニーホール / 時間・入場料未定（決定次第D-Liveにてお知らせ）
チケット事前販売の予定あり

外

MON
27

同志社大学喜劇研究会「10月ライブ」

▽@寒梅館クローバーホール / 開場 12:15 / 開演 12:45
入場無料（事前予約不要）

MON
27
FRI
~31

書道部「二回生展『紡』」

▽@寒梅館地下1階ギャラリー / 開場 10:00～17:00（最終入場16:30）※初日のみ13:00開場
入場無料（事前予約不要）



出演・出場情報



下記イベントに関する詳細および問合せ先は
主催元のHP等をご確認ください。

7/
SUN
06

同志社大学よさこいサークル「よさ朗」 「Sailing KOBE」

▽@神戸市メリケンパーク / 開催時間 9:00～20:00 ※雨天決行・荒天中止
観覧無料
主催および問合せ先▶ Sailing KOBE 実行委員会

8/
SAT TUE
09~12

同志社大学よさこいサークル「よさ朗」 「第72回よさこい祭り」

▽@高知県高知市 / 開催スケジュールはよさこい祭り公式HPをご確認ください
観覧無料（一部有料観覧席あり）
主催および問合せ先▶ 高知市 よさこい祭振興会事務局

9/
SAT
06

同志社混声合唱団こまくさ「百花繚乱すーちゃんコンサート」

▽@京都コンサートホール 大ホール / 開場 12:30 / 開演 13:30
入場料 前売 1,500円 / 当日 2,000円
チケット▶<https://teket.jp/13086/48687>
主催および問い合わせ先▶ 京都男声合唱団 / プリムローズ

9/
SUN
14

SF研究会 / 文学研究会「文学フリマ大阪13」

▽@インテックス大阪 2号館 / 開催時間 12:00～17:00（最終入場16:55）
入場無料（事前予約不要）
主催および問い合わせ先▶ 一般社団法人文学フリマ事務局

10/
SUN
12

同志社グリークラブ
「第80回関西合唱コンクール（第78回全日本合唱コンクール関西支部大会）」
（大学職場一般部門）

▽@伊丹市立文化会館東りいたみホール 大ホール / 開催時間は連盟HPをご確認ください
入場料 2,000円（11日・12日2日間有効）
主催および問い合わせ先▶ 関西合唱連盟

同志社大学よさこいサークル「よさ朗」 「第26回東京よさこい」

▽@東京都豊島区池袋 / 開催スケジュールは東京よさこい公式HPをご確認ください
観覧無料
主催および問合せ先▶ ふくろ祭り協議会

空間に残る人間の証

また、高杉さんは劇場という小さな空間で蓄積された時間とそこにしみついた人の気配についても述べた。

「劇場という特殊な空間で流れた時間というのはとても濃密で、それがいつまでもたってもそこに残り続けるんです。僕たち人間では知覚できないような目には映らない何か、先人たちの声のようなものですかね。そういうものが深くしみ込んでいる場所を劇を見ると、単に目の前の物語だけではなく、劇場に蓄積された先人たちの記憶や感情が一緒に感じてられると思っています。空間に内包された先人たちの想いは、彼らがそこで生きていた証。こういった目に見えないものを想像しながら、現実の演劇を作り上げていくのは面白いです」



高杉さんは誰もが感じている漠然とした「生きる」という多層的な姿を、舞台上で描き出す。この作品に触れることは、観客一人ひとりの「生」の解釈を広げる貴重な機会となることだろう。

CLAP

なりたい自分になる!



ミツメあう カラダうごかす コエをだす

2024年度からスタートした演劇ワークショップ「CLAP」。2025年7月6日（日）に公演される本番に向けた練習の場へ、前年に引き続き今年もイマヰイチ編集部が取材に訪れその魅力に迫った。受講生からは「CLAPに参加して初めて演劇というものに触れました。ここでの活動はとても新鮮で、演劇についてもっと深く知りたくなりました。」と絶賛の声が上がります。壇上で輪になって立ち、台本を読みあう受講生たちの表情は真剣そのもの。時折身振り手振りを交えて演劇を自ら体感し、劇の一部となっていく彼らが作り上げるものが今から楽しみです。そして今回はCLAPの講師、高杉征司さんに作品への想いをたっぷりと言語していただいた。



高杉征司さん

「生きる」うごかう
今年公演される『たちまち海月』は高杉さん自身が脚本を手掛けた短編ドラマとなっている。ある部屋に住む人間を、過去と現在の時空から見る重層的な世界観を描いた物語だ。この題材に込められた高杉さんの想いをお聞きすると、言葉を選びながらも確固とした信念を感じさせる様子でこう話してくれました。「今回の作品は僕自身の子供が生まれて、その成長を見守っていくなかで着想したものと。人々が生まれて生きていくなかで感じる感情、置かれる立場というのは輝かしいもの、誇れるものばかりではありません。むしろ苦しく、つらい時の方が多くなくて感じた『生きる』ということを感じました。生命というものを輝きや希望という美談だけで終わらせたくない、僕らが日々見ている等身大の現実を表現したいんです」

寒梅館たなばた芸術祭

7月6日に音楽、ダンス、演劇のイベント『寒梅館たなばた芸術祭』を開催します！同志社大学の公認団体であるコール・フリーユゲルの混声合唱、Meahula Nohealaniのフラダンス、交響楽団の演奏、そして学生支援課主催ワークショップ2025で制作した『たちまち海月』（作・演出：高杉征司）の上演を行います。各20分～30分程の時間枠で楽しんで頂けます。一般入場無料のイベントとなりますので、ぜひお問い合わせの上、お越しください！

【日時】 7月6日（日） 開場 13時半 14時開演
【料金】 無料
【会場】 寒梅館ハーディーホール（今出川校地 寒梅館地下1階）

【問い合わせ】 今出川学生支援課ホール担当 Tel: 075-251-3217 Mail: ji-gakse@mail.doshisha.ac.jp

上京区内イベントのお知らせ

同志社大学今出川校地がある京都市上京区は、御所や京町屋、老舗といった古都の歴史文化と伝統産業が息づいており、そのリソースを活かした様々な地域行事があります。このページではオススメのイベントをピックアップしてご案内します。同志社大学生のみなさんは参加者として、また、時には運営側のお手伝いとして参加してみませんか？

INFORMATION

西陣Fes夏祭り

8/9(土)

「西陣の伝統と「今」の二つの側面を知ってほしい」という想いで開催されている『西陣Fes』。毎年夏は、緑日・伝統文化、地域しごと体験、ステージイベントなどが展開されています。

詳細の情報や過去の様子はInstagramをチェックしてみてください。

<西陣Fes夏祭り>

日程:2025年8月9日(土)

会場:コミュニティ・バンク京信(京都信用金庫)西陣支店

Instagram:@nishijin_fes



HP

第21回 西陣 伝統文化祭「千両ヶ辻」

9/23
(火・祝)

今出川大宮界隈は古今西陣の中心地として繁栄し、西陣の黄金期にあたる江戸時代中期頃より生糸問屋・織物問屋が軒を並べ、日々千両に値する生糸や織物を商ったことから「千両ヶ辻」と呼ばれていました。

活気に満ちあふれた当時の雰囲気をも再現すべく、晴明神社の大祭にあわせて、周辺の各町内で西陣伝統文化祭「千両ヶ辻」を開催されています。

和文化を大切にする町・千両ヶ辻をテーマに町家の特別公開、文化に触れる企画、和装品の販売など楽しいイベントを繰り広げます。

詳細の情報や過去の様子はInstagramをチェックしてみてください。

<第21回 西陣 伝統文化祭「千両ヶ辻」>

日程:2025年9月23日(火・祝)

会場:上京区大宮通(今出川以南中立売以北)

Instagram:@1000ryougatujii



HP

お問合せ:同志社大学今出川校地学生支援課

火曜日には名作を観よう！

開講期間中の毎週火曜日、寒梅館クローバーホールでも映画上映を中心とした催しを開催します

会場 寒梅館クローバーホール (今出川校地 寒梅館地下1階)

料金 入場無料 (一般入場可)



～映画史上の名作連続上映～

映画の古典

～F・W・ムルナウ

7月1日(火)

① 16:30 『吸血鬼ノスフェラトゥ』

② 18:30 『最後の人』

完璧主義者

～エリッヒ・フォン・シュトロハイム

7月8日(火)

① 15:30 『グリード』

② 18:30 『愚なる妻』

映画の神秘

～カール・テオ・ドライヤー

7月15日(火)

17:00 『裁かるるジャンヌ』

★上映後、アフターレクチャーあり

講師:北小路 隆志氏

(映画批評家/京都芸術大学芸術学部教授)

◎開場は各回 15 分前

木曜日には何かがある！

木曜日には何かがある！を合言葉に 開講期間中の毎週木曜日

寒梅館ハーディーホールにて映画上映やコンサートなど様々なプログラムを開催します

※春学期のWOTは終了いたしました。秋学期は10月より再開いたします。



WHAT'S ON THURSDAYS=WOT (ワット!!)



観る立場から表現する立場へのシフトのきっかけになるような
演劇・音楽などのワークショッププログラムを開催します

メサイアを歌おう！ メサイアシンガーズ(女声)募集！

第 58 回全同志社メサイア演奏会

公演日:12月25日(木) 開場 17:00 / 開演 18:00

場 所:京都コンサートホール 大ホール

指 揮:園田 隆一郎

出 演:同志社交響楽団・同志社グリーククラブ・メサイアシンガーズ

主 催:全同志社メサイア演奏会実行委員会

練習日:9月17日～12月24日の毎週水曜日(他日程練習有:指揮者練習等が数回あります)

時間帯:18時半～21時ごろ

練習会場:寒梅館ハーディーホール他(寒梅館地下1階)

申込期間:6月27日(金)～8月29日(金)

募集人数:女声・大学生、院生、2017年度～2021年度入学の同志社大学及び同志社女子大学の卒業生、同志社教職員 40名

参加費:大学生、院生 2,000円、

2017年度～2021年度入学の同志社大学及び同志社女子大学の卒業生、同志社教職員 10,000円

※参加費は初回練習の際にお支払いいただきます。

※参加費のほか、楽譜代の徴収があります。

※プログラム参加途中で辞退される場合、参加費等の返金は行っておりませんので、ご了承下さい。

※参加希望者が多い場合は、同志社大学学生を優先した上で選考を行います。

※合唱経験の有無は問いませんが、メサイアの習得にはかなりの集中力と時間を要します。

本ワークショップの練習に集中して臨むことができる方を募集します。

※寒梅館に一般用の駐輪場、駐車場はございません。卒業生や他大学生は公共交通機関でお越しください。



参加申込はこちら

主催・お問合せ 同志社大学今出川校地学生支援課 TEL 075-251-3217 (ホール担当) E-mail jj-gakse@mail.doshisha.ac.jp

※諸事情により内容が変更になる可能性があります。ご了承ください。*ホール内は飲食禁止です。ご了承ください。

*ご来場の際は公共交通機関をご利用ください(駐車場・駐輪場はございません)。*未就学児の入場はご遠慮ください。

*場内誘導、座席の確保等について、特別な配慮をご希望の方は開催日の10日前までにお知らせ下さい。

できる限りの対応を取らせて頂きます。

フォローお願いします！



読者プレゼント

7月号の感想を送っていただいた読者の皆様の中から
秋学期上映予定のWOT鑑賞チケット2名様分を10組20名様にプレゼント！

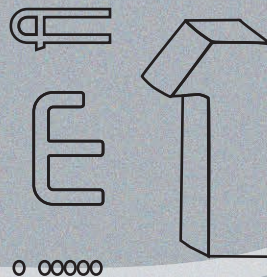
メールアドレス (imaichi2025@gmail.com) に

- ①お名前
 - ②ご住所・郵便番号
 - ③年齢 (任意)
 - ④イマ*イチ7月号を入手された場所
 - ⑤イマ*イチ7月号で1番よかったページとその理由
 - ⑥イマ*イチ7月号全体を通してのご感想
 - ⑦今後のイマ*イチに期待すること
- を明記の上、お送りください。

こちらの二次元コードから
簡単にご応募いただけます！



締切：2025年7月31日



発行日：2025年7月1日

発行：同志社大学 学生支援機構
今出川校地学生支援課
075-251-3270

編集：同志社大学広告研究会 add's

イマデガワでイチバンの地域情報誌

イマ*イチ

編集後記

Topic みんなの自転車エピソード

鳥井麻衣
ライター (たわらや、キョウジュ企画、SF研究会、CLAP)
カメラマン (表紙・裏表紙、企画表紙、SF研究会)

片道5キロの通学路は常に向かい風でした。

細川瑞生
お兄ちゃんの自転車で乗る練習をしていた。

安藤舞音
ライター (きらく寿し)
小4で買ったジュニアサイクル、週1乗るかも怪しいけれど高校卒業まで現役でした。

上村杏
デザイナー (特集 p.02-03)
高校生のとき使ってた自転車を大学生になっても使ってた時に、車に積んで京都に持ってきたから、車がパンパンになった。

西村涼葉
デザイナー (CLAP)
一見、平坦な道の地味な登り坂と和解決たいです。

竹中翔悟
デザイナー (キョウジュ企画、クラブ・サークル活動)

誰かの悪戯でチャリを近くの駐車場に持っていかれた。しかも元旦。

都築玲子
ライター (いせはん)
最初は気に入らなかった茶色の持ち手が、今はチャームポイント。

杉本恵美
デザイナー (特集 p.04-05)
高校に入学して2日目の朝、通学中に自転車で盛大に転倒し、通りかかった知らないおじさんに本気で心配された。

宮崎瑠乃
カメラマン (特集 p.03)
一時停止してる車の前で偶然こけてしまつて当たり屋みたいになってしまった。

柳澤莉乃
カメラマン (きらく寿し)
初めて乗った時、一発で乗りこなして自分でびっくりした。

岩本花梨
ライター (クラブ・サークル活動)
デザイナー (出張版アトム、編集後記)

高校時代の夏、走行中セミが膝に乗ってきたときの生温かさがトラウマ。

佐々木瑠偉
カメラマン (好文舎、CLAP、いせはん)
京都から新潟まで野宿しながら旅しました。

姫業美海
ライター (好文舎)
本屋、図書館、ブックオフと、毎日乗り回していました。

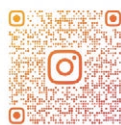
村元柚月
デザイナー (目次・企画説明)
大学入学2日目の道中に自転車で思い切りこけたことがトラウマで、そのあと1年間2km徒歩で通学した。

堂山知輝
マンションの駐車場の子分を連れて走り回っていたので暴走族と呼ばれていた。



0 00000

「今出川で過ごす人」
のための
フリーマガジン



@IMA_1CHI_

Instagram



X (Twitter)